

岩手医科大学歯学会設立総会記録

昭和50年11月3日午後1時より歯学部講堂において、予て念願であった岩手医科大学歯学会の設立総会が85名の出席のもとに開催された。議事は議長に藤岡幸雄教授を選出し、石川富士郎教授の司会のもとに進められた。最初に関山三郎教授より設立当初から今日に至るまでの経過の報告と合わせて設立に当り関係各位から寄せられた御支援に対し謝辞が述べられた。

次いで本会の骨子ともいえる会則ならびに細則について、設立準備委員会により草案された岩手医科大学歯学会会則ならびに細則案をもとにして、高江洲義矩教授の解説を加えながら十分に審議され、会則が7章20条、細則が18条にわたって制定された。会則が決定したところで、新会則に従い、富沢歯学部長が会長に就任された。役員を選出に当たっては、設立総会でもあり、選挙も困難なため、出席の会員の方々の承認により、特例として会長の委嘱により決定することになり、副会長に藤岡幸雄、監事に石橋真澄、鈴木鍾美、評議員に甘利英一、阿部節子、石川富士郎、石橋真澄、伊藤一三、上野和之、大泉貞治、大川静子、大屋高徳、尾持昌次、加藤政孝、亀田 務、川崎裕也、小守林尚之、斎藤泰一、佐々木市郎、佐藤 譲、沢木新、鈴木鍾美、鈴木 隆、関山三郎、高江洲義矩、高宮達治、中島 武、野坂洋一郎、藤村節夫、松枝恭俊、三浦広行、村上徳行、八幡文和、(アイウエオ順、敬称略)の31名が委嘱され、岩手医科大学歯学会が発足した。(発足時会員数は320名である。)

富沢新会長の挨拶に続き、岩手医科大学学長三田俊定先生、医学部長小原喜重郎先生、岩手県歯科医師会を代表して鈴木貞雄先生から御祝辞をいただき、引き続き記念講演として岩手医科大学理事長篠田 胤先生

より「医の道」と題するお話があった。

評議員会記録

昭和50年11月3日、歯学部会議室で開催。評議員一同の紹介の後、幹事の選出を行なった。選出された幹事は以下のごとくである。

編集幹事：斎藤泰一、石川富士郎

集会幹事：高江洲義矩、関山三郎

会計幹事：鈴木 隆、甘利英一

庶務幹事：川崎裕也、野坂洋一郎

幹事会記録

昭和50年11月5日、歯学部長室で開催。出席者は富沢会長、藤岡副会長、鈴木(鍾)、石橋の両監事、甘利、石川、川崎、斎藤、鈴木(隆)、高江洲、野坂の各幹事。

1. 岩手医科大学歯学会編集委員会規定を決定。
2. 編集規定に則り、編集委員に、斎藤、石川、高江洲、藤村、上野、関山、の各先生を推選した。

幹事会記録

昭和50年11月19日、歯学部長室で開催。富沢会長、藤岡副会長、鈴木(鍾)監事、甘利、石川、川崎、斎藤、鈴木(隆)、高江洲、野坂の各幹事。

1. 昭和50年度事業計画案と予算案を設立した。なお本年度は設立年度でもあり、本計画ならびに予算案を総会に諮るのは困難なため、評議員会の承認を得て実施することにされた。
2. 編集委員会より投稿案内の原案が提示された。